

# 森と水辺のシンポジウム

## 21世紀の環境ボランティアとグラウンドワークとは？

地域の抱える身近な環境問題を、ボランティア活動を通して再確認し、**地域社会ネットワーク**の必要性を考えます。みなさんも、市民活動・行政・企業・研究者が、それぞれの立場からお互いの活動を認め合い、協働作業を行う21世紀型の**環境グラウンドワーク**の方向性について考えてみませんか？

平成13年11月3日(土・祝)10:30～(10:00 開場)

県民文化ホール 未来会館 長良川ホール

定員:400名 入場無料

第1部(10:30～11:50)

基調講演

「地域コミュニティにおける環境ボランティアの役割 ～東海地方の事例を中心に～」

岐阜大学 農学部 教授 雑木林研究会 会長 林 進 氏

特別講演

「中部電力の環境保全に向けた取り組み ～環境コミュニケーション確立に向けて～」

中部電力株式会社 立地環境本部 環境部 田畑 喜彦 氏

第2部(13:10～16:15)

パネルディスカッション

21世紀の環境ボランティアとグラウンドワークとは？

パネリスト

藤崎 義治 氏 特定非営利活動法人 長良川環境レンジャー協会 理事長  
鷺見 忠信 氏 岐阜森林愛護隊 広報部会長  
奥村 欣司 氏 tenma どんぐりクラブ 代表幹事  
林 功治 氏 国土交通省 木曽川上流工事事務所  
棚橋 一雄 氏 岐阜県 農林水産局 農林水産政策課 (岐阜森林愛護隊事務局)  
鈴村 仁孝 氏 清見村 農林商工課  
田畑 喜彦 氏 中部電力株式会社 立地環境本部 環境部 計画グループ 副長

コーディネーター

林 進 氏 岐阜大学 農学部 教授 雑木林研究会 会長

岐阜県の環境支援活動 パネル展 同時開催

主催 森と水辺の技術研究会

後援 国土交通省 木曽川上流工事事務所、岐阜県、岐阜市、岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、岐阜大学 (財)日本グラウンドワーク協会、(財)日本生態系協会、(社)日本林業技術協会、(社)国土緑化推進機構 (社)日本青年奉仕協会、全国森林組合連合会、(社)岐阜青年会議所、(社)大垣青年会議所、中部電力株式会社 ぎふNPOセンター、特定非営利活動法人 長良川環境レンジャー協会、グラウンドワーク東海 ぎふまちづくりセンター、岐阜ビオトープ管理士会 (順不同)

問い合わせ 森と水辺の技術研究会 シンポジウム事務局

TEL:058-246-7755(代) FAX:058-246-7087 E-mail:mori\_mizube@geocities.co.jp  
インターネットで詳しい情報をどうぞ!! URL:http://www.geocities.co.jp/NatureLand/7551

# 第1回

# 森と水辺のシンポジウム

シンポジウム コーディネーター

林 進 氏 プロフィール

岐阜大学 農学部 教授 雑木林研究会 会長

1940年 和歌山県生まれ。京都大学 農学部林学科 同修士課程修了。京都大学 農学博士。1970年岐阜大学農学部に教官として赴任。以後現在まで、岐阜大学において教鞭をとられています。研究テーマとして、中山間地域活性化、林業経済、都市・地方環境計画、樹木医学など、幅広分野において活躍されており、根尾村の淡墨桜や宮村の臥龍桜、荘川の荘川桜はじめとする巨樹・古木を甦らせたことでも有名です。また、里山整備ボランティアの第一人者であり、ボランティアの育成、ボランティアの地域貢献システムについても数多く立案・実施されています。

著書として、「森の心 森の智慧」「Q&A 里山林ハンドブック」「地域活性化と地域経済」、共著に「森林 - 日本文化としての」「バイカル湖」など他多数。

## 当研究会発足の趣旨

川などの水辺と森林に関する技術の現状を見ると、地球環境問題の顕在化と共に急速な発展が見られるが、個別の議論で終始している事例が少なくない。最近になり、水源涵養林としての役割と共に、魚の生息環境に対する渓畔林の役割が重要視されるようになってきたものの、森と水辺を結合した身近な技術にはまだなっていない。

ここに、新たな川と森をつなぐ技術の必要性が指摘される。また、川と森、そこに棲む生き物たちは全体として一つの風土を形成し、風土を担う地域住民の役割の重要性も指摘される。以上現状に鑑み、民間を中心とした「森と水辺をつなぐ技術」の発展を期し、本研究会を発足するものである。

## 会 場 の ご 案 内

### 公共交通機関のご案内

JR岐阜駅または名鉄新岐阜駅よりバス

(所用時間約20分)

・市営岐阜バス 13 三田洞線

111 長良線(金華橋さぎ山まわり)

・岐阜バス 岐阜メモリアル循環線

すべて「岐阜メモリアルセンター正門前」バス停下車  
約100m

周辺に食堂が少ないため、弁当を持参されることを  
お勧めします

